

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②事業者情報

名 称： 岐阜県立陽光園	種別： 障害者支援施設
代表者氏名： 山路 すな子	定員： 施設入所 75名 短期入所 4名
所 在 地： 岐阜県美濃市立花1155-5	Tel 0575-35-0511

③総 評

◇特に評価の高い点

県立陽光園は昭和51年に県立の身体障害者療護施設として開設され、平成18年に指定管理制度が導入され、平成23年に新事業体系に移行し、現在に至っている。当園は美濃市郊外の長良川左岸に沿った山の中腹に位置し、施設の周りは山に囲まれ、自然豊かな環境にある。しかし、市街地に行くには山道を下るなど時間を要し、利用者の買い物は従来からの移動販売に頼っているところもある。施設周囲には堤防があり、裏山の斜面には堰堤が施されている。8年ほど前に訪問調査で訪れた時は、自然に恵まれた環境という印象があったが、最近では山からの水が園庭を川のように流れ下ることが何度もあり、また去年はマイマイが異常発生したり、園庭の花壇の土をイノシシが掘り返すなど、自然災害や鳥獣被害が身近に迫ってきている等、自然環境の変化が施設に悪影響を及ぼしている。そのような中で当園では障害支援区分6や5の重度の利用者が90%を超え、高齢化に伴う重度化が進行しているが、利用者の主体性や自主性を重んじた支援を掲げ、伝統ある自治会組織の会での取り組みや意見を各種の園内規則に取り入れたり、施設運営について必ず自治会での承認を得る等、利用者自治を尊重している。また「めざす委員会」等外部委員の意見も取り入れ、施設の立場からの主導的な支援ではなく、利用者の思いを尊重した支援が行われている。

今回の第三者評価を受審されるにあたり、全員が参画し、自己評価に取り組まれており、受審に際して真摯な姿勢が伺えた。

◇改善を求められる点

クラブ活動についてはボランティア側の都合もあり、縮小傾向である。また職員が関わって余暇やレクリエーションについて充実を図るには限界もある。ボランティア等社会資源の活用について積極的に取り組まれ、レクリエーション、傾聴、パソコン利用等についての充実に向けた取り組みに期待する。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受審するにあたり、職員各自が改めて施設での取り組みを見つめ直し、確認し合う機会となりました。また、第三者評価を実施したことで課題に気づき、また職員だけでは気が付かない細部に至るまでの評価をしていただき、今後に向けての目標が明確になりました。利用者目線で物事をとらえ、考える事の重要性の再確認もできました。

新しいボランティアの開拓のみならず、地域と積極的に連携をしながら取り組んでいく事が重要だと思います。

今回の評価を真摯に受けとめて改善に取り組み、今後も利用者にとってよりよい施設となるよう努めてまいります。

⑤評価細目の第三者評価結果 (別添)